

**経営学部
情報コース特殊講義**

Webデザイン論

第22回 JavaScript (3)

講師 檀 裕也

出席確認フォーム

出席確認フォーム

<http://www.cc.matsuyama-u.ac.jp/~dan/>

から学籍番号および氏名を送信する。

出席データを送信できない場合は、大学指定の出席カードを授業終了後、提出しなさい。

最終制作課題

テーマ: 指定課題・自由課題のうち一つを選択

提出方法: Webサイトの制作および公開、ならびに
電子メールによるURLの通知

宛先: dan@cc.matsuyama-u.ac.jp

評価点: 想定するターゲット層に適合しているか
目的を実現するために適切な内容か
HTML および CSS の記述は適切か

締切: 2006年 7月31日

最終制作課題のテーマ

次のうち一つを選択して制作する

①松山の紹介

松山に馴染みのない人を対象とし、松山の魅力をアピールするWebサイト

②松山大学の紹介

大学進学を考えている高校生を対象とし、松山大学の良さをアピールするWebサイト

③自由課題（レポート作成を含む）

テーマは自由に設定してよいが、想定するターゲット層、Webサイトの目的などをまとめたレポートを作成する。

今回の授業内容

- JavaScript (3)
 - 文書情報の取得
 - イベントハンドラ
 - 最終課題制作

文書情報の取得・変更

document クラスを使って文書情報を取得したり変更したりできる

```
document.bgColor = "white";  
alert ( document.bgColor );  
alert ( document.lastModified );
```

プロパティ	機能
bgColor	背景色
fgColor	文字色
lastModified	最終更新日
title	ページのタイトル

サンプル (1) js.htmlに追記する

```
<html>
<head>
<title>JavaScript のサンプル</title>
<meta http-equiv="Content-Script-Type"
content="text/javascript">
</head>
<body>
<h1>JavaScript のサンプル</h1>
<script type="text/javascript">
<!--
    var myColor = prompt( "背景色は?", "" );
    document.backgroundColor = myColor;
//-->
</script>
</body>
</html>
```

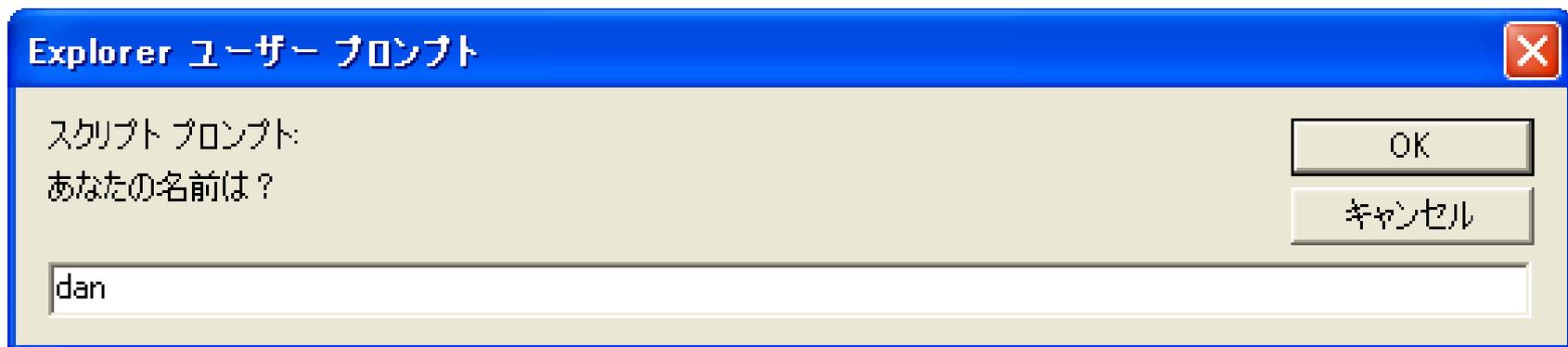
prompt メソッド

利用者に文字列を入力させる

`window.prompt` (“表示メッセージ”, “入力初期値”);

記号 ”” で空の文字列を与える

JavaScript のサンプル



ブラウザ情報の取得

navigator クラスを使ってブラウザ情報を取得できる

プロパティ	機能
appName	ブラウザの名称
UserAgent	ブラウザのバージョンなど

サンプル (2) ブラウザ情報などの表示

```
<body>
<h1>JavaScript のサンプル</h1>
<script type="text/javascript">
<!--
    document.write( navigator.appName );
    document.write( "<br>" );
    document.write( navigator.userAgent );
    document.write( "<br>" );
    document.write( document.lastModified );
//-->
</script>
</body>
```

時刻情報の取得

Date オブジェクトを使って時刻を取得できる

メソッド	機能
<code>getDate</code>	日にちを参照する
<code>getDay</code>	曜日 (0~6)
<code>getFullYear</code>	4桁の西暦年
<code>getHours</code>	時間
<code>getMinutes</code>	分
<code>getMonth</code>	月 (0~11)
<code>getSeconds</code>	秒

サンプル (3) 現在時刻の表示

```
<body>
<h1>JavaScript のサンプル</h1>
<script type="text/javascript">
<!--
    now = new Date();
    h = now.getHours();
    m = now.getMinutes();
    document.write( h, "時", m, "分" );
//-->
</script>
</body>
```

マウスの操作に応じた動作

フィードバック効果

松山大学

- ・マウスでクリックすると、実際のボタンと同じように“押された”状態になる。

松山大学

- ・アイコンに影をつけ、立体的に見せると動きが分かりやすい。

松山大学

サンプル (4) リンクボタン

```
<body>  
<h1>JavaScript のサンプル</h1>  
<a href="http://www.matsuyama-u.ac.jp/">  
  
</a>  
</body>
```

3個のリンクボタン画像を用意しておくこと

イベントハンドラ

イベントの発生をきっかけに処理をする

マウスカーソルがオブジェクト上に位置する

`onMouseOver="this.src='mu02.gif'"`

マウスのボタンが押される

`onMouseDown="this.src='mu03.gif'"`

マウスカーソルがオブジェクトから離れる

`onMouseOut="this.src='mu01.gif'"`

まとめ

今回の授業内容

- JavaScript (3)
 - 文書情報の取得
 - イベントハンドラ
 - 最終課題制作

次回予定

- CGI (1)